

部長会議付議事案書（報告）

（令和 6 年 7 月 2 日）

提案課名 消防管理課

報告者名 二宮 淳

<p>事案名</p>	<p>マイナンバーカードを活用した救急業務の実証事業について</p>	<p>資料 有</p>
<p>提案趣旨</p>	<p>高齢化の進行等による救急需要の増加や救急業務に求められるニーズの多様化によって、より効果的な救急活動の実施が求められている中、救急隊は傷病者の医療情報を正確かつ迅速に把握する必要があります。</p> <p>こうした状況から、総務省消防庁はマイナンバーカードを活用した救急業務のシステム構築に向け、実証事業を行っています。</p> <p>この実証事業に本市消防本部が採択されたことから、実証事業を実施することについて、報告するものです。</p>	
<p>概要</p>	<p>1 事業概要 救急出動において、傷病者のマイナンバーカード（健康保険証利用登録済み）を活用し、「オンライン資格確認等システム」から救急隊が搬送先医療機関の選定に資する傷病者の医療情報を閲覧し、救急業務の迅速化・円滑化を図るものです。</p> <p>2 実施期間 令和 6 年 9 月 6 日（金）から同年 11 月上旬までの 2 か月間</p> <p>3 実施消防本部 本市を含む全国 67 消防本部の救急隊 660 隊</p> <p>4 本市の実施救急隊数 全救急隊 6 隊</p> <p>5 救急活動イメージ 資料 1 参照</p> <p>6 協力救急医療機関 秦野赤十字病院 ※実証事業を行うためには、「オンライン資格確認等システム」が導入された医療機関の協力の下、救急隊員に対する閲覧権限の付与が必要であることから、秦野赤十字病院に協力を依頼したものです。</p> <p>7 閲覧医療情報 (1) 診療・薬剤情報（処方薬情報） (2) 特定健康診査受診結果（健康診断結果等）</p> <p>8 期待される効果 体調が優れない傷病者は救急隊員に説明する負担が軽減されるとともに、救急隊員は正確な情報を取得し、搬送先医療機関を円滑に選定できるものです。</p>	

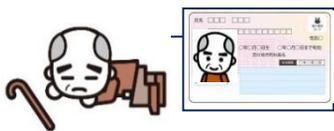
経過	<p>令和5年12月 総務省消防庁による実証事業実施消防本部の公募</p> <p>令和6年 2月 実証事業実施消防本部の応募</p> <p>〃 3月 実証事業実施消防本部の決定</p> <p>〃 6月 実証事業を先行実施している平塚市消防本部へ視察 秦野医師会及び市内医療機関への説明</p>
今後の進め方	<p>令和6年 7月 本市、協力救急医療機関及び総務省消防庁の業務請負事業者と契約締結 議員への情報提供 市ホームページ掲載、マイナンバーカード交付時等におけるリーフレット配布（資料2参照）</p> <p>〃 8月中旬 救急隊員へ事前説明会、訓練実施</p> <p>〃 9月1日 広報はだの記事掲載</p> <p>9月6日 実証事業開始（約2か月間）</p> <p>令和7年度以降 総務省消防庁の検証結果及び動向を踏まえ、事業の具体化を図る。</p> <p>【財政負担】（総務省消防庁試算）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入費用 0円 ※実証事業実施消防本部は、財政負担なし ・維持管理費 約3,800千円/年 ※救急隊6隊の場合

マイナンバーカードを活用した救急業務の実証事業を実施します



秦野市消防本部では、救急車を必要とする傷病者本人の同意を基本として、マイナ保険証を活用して通院履歴や服薬情報等を把握し、救急業務の迅速化・円滑化を図ります。

マイナ保険証を活用するメリット



傷病者本人の情報を
正確に伝えられる



病院の選定や
搬送中の応急処置
を適切に行える



搬送先病院で
治療の事前準備
ができる

実証事業の概要

期間 令和6年(2024年) 9月6日~11月上旬(予定)

実施救急隊数 秦野市消防本部 全救急隊6隊

必要な準備



マイナンバーカード

※マイナ保険証の利用登録が必要です

マイナ保険証の利用登録はこちら



本実証事業にご協力いただくため
マイナンバーカードの携帯をお願いします



お問い合わせ

秦野市消防本部 消防管理課

TEL:0463-81-8020

